

関西学院大学大学院理工学研究科

2025 年度入学試験

(二次：2025 年 2 月 27 日実施)

専門科目

建築学専攻

設計系(即日設計)

(13:10-16:10 180 分)

【試験にあたっての注意】

1. 筆記用具（直定規、三角定規〔勾配定規を含む〕、三角スケール、鉛筆、シャープペンシル、芯ホルダー、字消し板、消しゴム、練りゴム、ペン、色鉛筆、ドラフティングテープ、鉛筆削り〔芯研器を含む〕、ティッシュペーパー、および貸与する平行定規）と電子式卓上計算機（プログラム機能のないもの）以外はカバンに入れ、カバンは床の上に置くこと。
2. 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、音楽プレーヤー等の音の出る機器の電源を切ること。なお、アラームを設定している人は解除してから電源を切り、カバンにしまうこと。
3. 時計のアラームは解除すること。携帯電話を時計として使用することは認めない。
4. 試験の途中退中は認めない。ただし、やむを得ない場合は挙手し監督者に知らせること。
5. 不審な言動は慎むこと。不正行為が発覚した場合、全科目を0点とする。
6. 試験用紙は以下の構成となっている。
 - ① 問題冊子1冊
 - ② 解答用紙（ケント紙）
7. 指示があるまで問題冊子を開かないこと。
8. 各問題は、所定の解答用紙（ケント紙）に解答すること。
9. 問題冊子に書かれた注意に従うこと。
10. 解答用紙（ケント紙）には、氏名は記入せず、受験番号のみを記入すること。
11. 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ること。

以上

2025 大学院入試 即日設計課題

■課題

郊外の住宅街の一面に、川と公園に隣接した図のような東西 15m×南北 9m の敷地がある。周囲は 2～3 階建ての住宅で囲われた良好な環境である。ここに地域の人々が気軽に訪れることのできるカフェを設計せよ。人々が自由に心地よい時間を過ごすことのできる空間を構築すること。内部空間の関係や敷地外の環境を考慮し、外部空間も利用するカフェの設計を、敷地内の外構デザインと一体に行うこと。

■設計条件

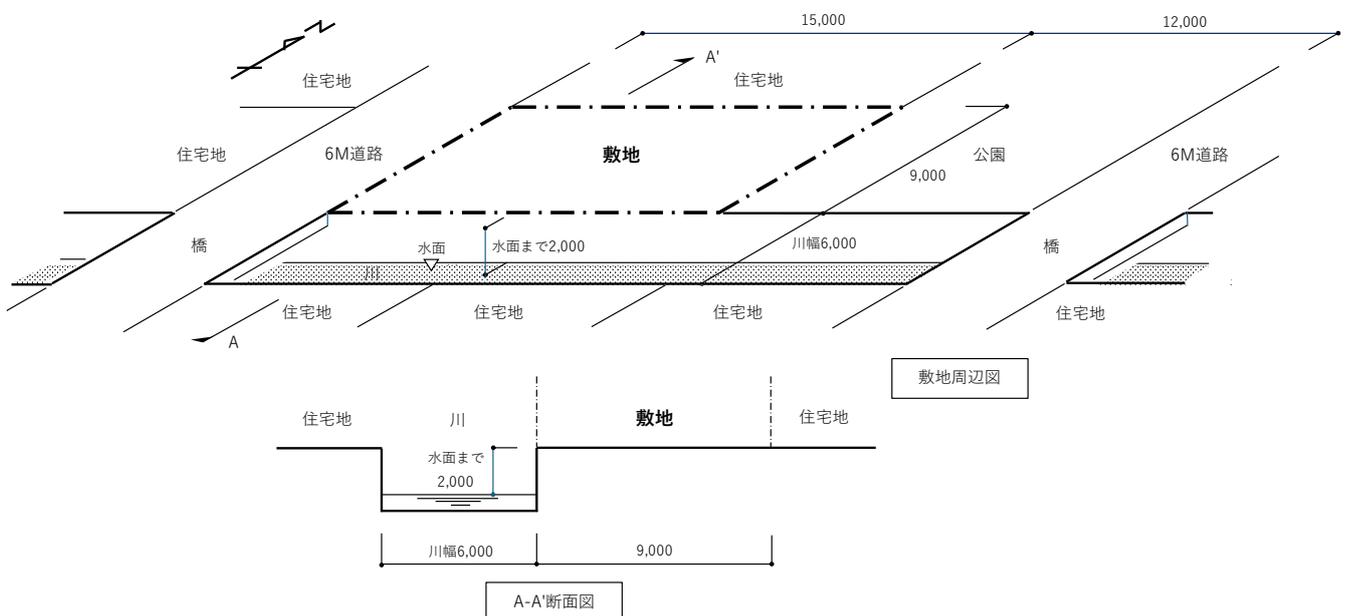
- ・カフェの形状は、環境を考慮しながら自由に設計して良い。
- ・構造形式は自由。規模、階数は延床面積 80 m²程度、2 階建てまで（地階なし）とする。
- ・建築関連法令への配慮は不要とする。

■所要図面

- ・各階平面図 S=1:50
 - 1 階平面図は配置図を兼ねる（外構デザインを表現すること）
 - 各階平面図にはインテリアデザインを表現すること
- ・断面図（1 面以上） S=1:50、インテリアデザインを表現すること
- ・設計意図を十分に表現できるスケッチパース（1 面以上、内外観を問わない）
- ・設計趣旨 200 字程度

以上を A2 ケント紙（横使い）1 枚にまとめること。

図面には主要寸法を記入すること。



出題意図

郊外の良好な環境を有する住宅街に、地域の人々のための小規模なカフェを提案する課題である。2辺をそれぞれ川と公園に接する特徴的な敷地において、地域の人たちがどの様に集い、どのような時間を過ごすことができるのかを、内外部空間の連続性と敷地外部との関わりを考慮してわかりやすく描写し、的確に文章で要約することを期待する。

解答例

設計課題の特性上、解答例は提供していません。